６　研究の実際

1. 「かかわる」授業についての研究

３年間の研究テーマのキーワードとなる「わかる」「できる」「かかわる」授業の在り方を受けて、研究２年目の日南・串間地区においては「わかる」「できる」「かかわる」を密接に関連させてバランスよく研究していくが、特に「かかわる」授業についての研究を推進してきた。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地　区 | Ｈ２６　日向、東臼杵 | Ｈ２７　日南 | Ｈ２８　えびの |
| テーマ | わかる・できる・かかわる | わかる・できる・かかわる | わかる・できる・かかわる |
| 小中高特つながり | 小中高特で共通して「わかる」授業のつながり | 小中高特で共通して「かかわる」授業のつながり | 小中高特で共通して「できる」授業のつながり |
| 学習指導要領 | 密接に関連させてバランスよく研究していくが、特に「知識、思考・判断」「技能」「態度」 | 密接に関連させてバランスよく研究していくが、特に「知識、思考・判断」「技能」「態度」 | 密接に関連させてバランスよく研究していくが、特に「知識、思考・判断」「技能」「態度」 |
| 技術(技)の名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、練習や発表の仕方を身に付け、自己や仲間の課題に応じた運動を取り組み方、さらに運動を継続するための取り組み方を育むことがで　　　きる。　　 | 公正、協力、責任、参画などに対する意欲を高め、健康・安全を確保できる。 | 　　生涯にわたって運動に親しむことができる基礎的・基本的な技能や動きを身に付けることができる。 |
| 「できる」方法や「うまくなる」道筋がわかること | 仲間と共に運動を楽しむこと | 運動の技能や動きが身に付くこと |

人にはそれぞれの違いがあることを承知したうえで、仲間の技能の程度に関わらず、仲間と課題を共有して互いに助け合ったり教え合ったりする学び合い活動といった「かかわる」が大切である。

体育授業での「かかわる」には、技能・態度・知識・思考・判断の指導内容について関連させて学習することが大切である。また、指導内容を確実に身に付けさせるために仲間や教材・教具、ルール、安全面、そして自己や仲間の課題解決のために練習方法の選択に児童・生徒がどう「かかわる」か発達の段階に応じた指導方法を工夫することが求められる。

さらに、このようなことから「わかる」「できる」「かかわる」はバランスよく相互に関連して、児童・生徒の発達の段階に応じて変化していくととらえることができる。

生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現できる力を身に付けるためには、各領域及び運動種目等における技能や攻防の様相、動きの様相との関連に留意し、各領域の特性や魅力に応じた楽しさや喜びを味わわせながら、運動に親しむ資質や能力を育てる必要がある。